

脳卒中の後遺症「痙縮」治療の新時代 ～「6カ月の壁」を打ち破る～

脳卒中後の後遺症「痙縮」の患者さん、毎日の着替えがしづらい、夜の寝返りが痛くて眠れない、片手での家事がしづらい、など患者さんが諦めている困り事が多々あるかと存じます。またこれから暑い季節がきますと、握りこぶしが開きづらいことによる臭いや衛生面を気にする方も出てくる時期になります。そして介助する方は、着替えをさせにくいなど毎日の介助に対して胸に秘めている困り事が本当はあるかもしれません。そんな痙縮に対する治療満足度の高い新しい治療法を一度学んでみませんか？

日時:2015年6月20日(土) 15:00～17:00

場所:マリーナシティ 和歌山県立わかやま館 大会議室

【特別講演】(15:00～15:50)

【座長】

和歌山県立医科大学 脳神経外科 教授 中尾直之先生

「最新の痙縮治療の全体像(仮)」

【演者】

近畿大学医学部堺病院 脳神経外科 講師 内山卓也先生

【ディスカッション】(16:00～17:00)

【司会】

和歌山県立医科大学 脳神経外科 准教授 小倉光博先生

①「当院における痙縮治療」

北出病院 脳神経外科 龍神幸明先生

北出病院 理学療法士 根来拓弥先生

②「手技のポイント:ボツリヌス療法の効果的な施注経験」

済生会和歌山病院 脳神経外科 三木潤一郎先生

③「大学病院における痙縮治療」

和歌山県立医科大学 脳神経外科 西林宏起先生



マリーナシティ 和歌山県立わかやま館

電話番号:073-448-0070 FAX:073-448-0080

※マリーナシティ駐車場の駐車券ご用意しております

※参加人数把握のため、ご連絡頂けますと助かります。

※施設で複数名参加される場合は代表者とお名前と大体の参加人数のご連絡をお願いします。

平成27年6月20日（土）「脳卒中の後遺症～痙縮治療の新時代」に

ご出席

ご欠席

ご施設名

ご芳名

FAX : 073-402-7253 グラクソ・スミスクライン(株) 佐藤 芳行宛

連絡先 : 080-1147-0251 yoshiyuki.2.sato@gsk.com